

川上氏と嘉田氏の川の利用法のところで、どう利用するかで、意見が食い違っていましたが、水を綺麗にするという考え方では、川上氏の”出来るだけ自然に近い”状態にするのが、本来であると思います。農地は、川を浄化しないのであまりお勧めできません。また、川の湾曲した流れの中で、水を浄化していくことが行われているのであって、川の水のろ過は、例えばろ過材によっていると限界が必ず来ます。水の浄化は、バクテリアがするので、川の湾曲がどうしても必要です。その意味で、水を綺麗にするという意味では、川上氏の考えが正しいです。

しかし、川を利用するという立場からでは、違ってくるのですが、今まで、川を利用することで、水が汚れてきた経緯を見ると、人間の力では、淡水の水は、綺麗に出来ないと思います。バクテリアには魚の糞が栄養ですし、自然はサイクルなので、魚がいるところには、水が綺麗になる要素があります。

また、堤防やダム是件ですが、川上氏は集団ヒステリーの意見に絡まれています、例えどれだけ高く堤防を作っても、自然の摂理にはかないません。

高く作ると、それだけ堤防の決壊が来た時に、被害が大きくなるだけです。

岐阜県の”輪中”に見られる”自然に備えて家が流されることを受け入れる心構え”をしておくのが、”最大の堤防”です。

また、建設族の妨害に会っているようですが、以前富山県のダムで、ダムのヘドロや流木をどうするか？という問題で、一気にヘドロを排出したので、シャケなどの生物が死亡して、異臭を放っていたことを思い出します。

ダムも決壊した時はどうなるんでしょう？責任は取るのでしょうかね。建設族は・・・取らないか・・・その時は議員ではないからね。そんないい加減な人たちのために大事な自然を壊されえるのは、非常に危険です。

頑張ってくださいね。川上氏！